



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 27 年 3 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 27 年 3 月度の月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	182	64.3%	11.6%	159.1%
F P D分野	87	30.9%	40.8%	77.5%
その他分野	13	4.8%	△68.3%	△77.9%
合計	284	100.0%	5.6%	56.4%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H26.4月	5月	6月	7月	8月	9月
半導体分野	80	84	89	77	94	105
F P D分野	47	58	71	67	56	40
その他分野	21	43	62	31	13	12
合計	149	186	222	176	163	158

区分	10月	11月	12月	H27.1月	2月	3月
半導体分野	100	141	146	153	163	182
F P D分野	49	37	50	54	62	87
その他分野	143	180	189	57	42	13
合計	292	359	386	266	269	284

3. 月次受注残高の概況

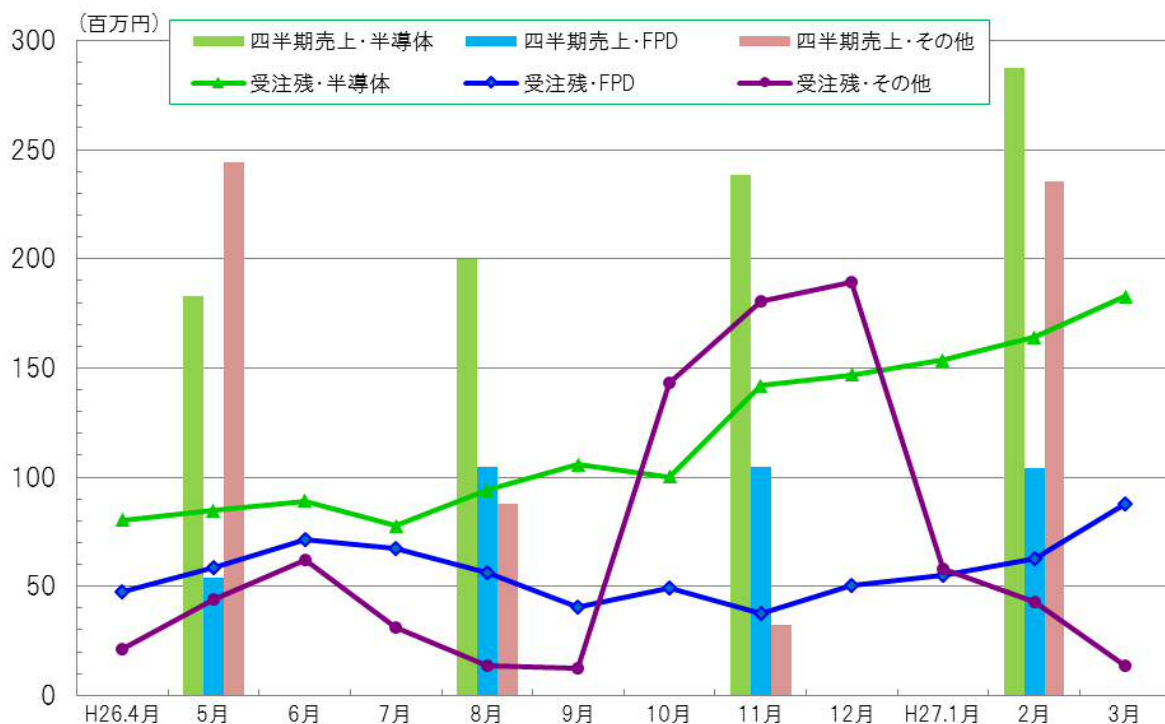
平成 27 年 3 月末の受注残高は、半導体分野においては、受注および出荷検収が好調に推移し対前月増減率で 11.6%増、対前年同月増減率では 159.1%増の 182 百万円となりました。FPD 分野においては、国内外の設備投資が活発化していることに伴って当社の受注も拡大し始めたことから、対前月増減率は 40.8%増、対前年同月増減率では 77.5%増の 87 百万円となりました。その他分野においては、ユニット受注が一旦落ち着いたことから、対前月増減率は 68.3%減、対前年同月増減率では 77.9%減の 13 百万円となりました。これらの結果、平成 27 年 3 月末の受注残高は、対前月増減率 5.6%増、対前年同月増減率 56.4%増の 284 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では、製造装置市場に調整の可能性もありますが、当社においては受注品種の拡大が続いていることと、消耗品需要の増加傾向もあり、山谷はありながらも受注拡大は続く見通しです。FPD 分野では、今後、中小型から大型パネル向けまで、幅広く設備投資が拡大することで当社の受注も本格化していく見通しです。また、その他分野では、スマートフォンを含む各種携帯端末の売れ行きと新機種の有無に影響される受注環境ではありますが、断続的にリピート受注を確保できる見通しを持っております。

全般的には、半導体関連の真空パーツを中心に新規部品の受注拡大は依然続いており、生産力が課題になっております。このような環境のなか、社内生産力の増強および生産性の改善に加え、協力企業との取引拡大により生産能力を高めることで出荷拡大を図ります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。